



# アセトアミノフェン：純度試験

—第十六改正 日本薬局方より—

## 操作条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：225 nm)

カラム：内径 4 mm、長さ 15 cm のステンレス管に 5  $\mu$ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：40 °C付近の一定温度

移動相：pH 4.7の0.05 mol/Lリン酸二水素カリウム試液／メタノール混液(4:1)

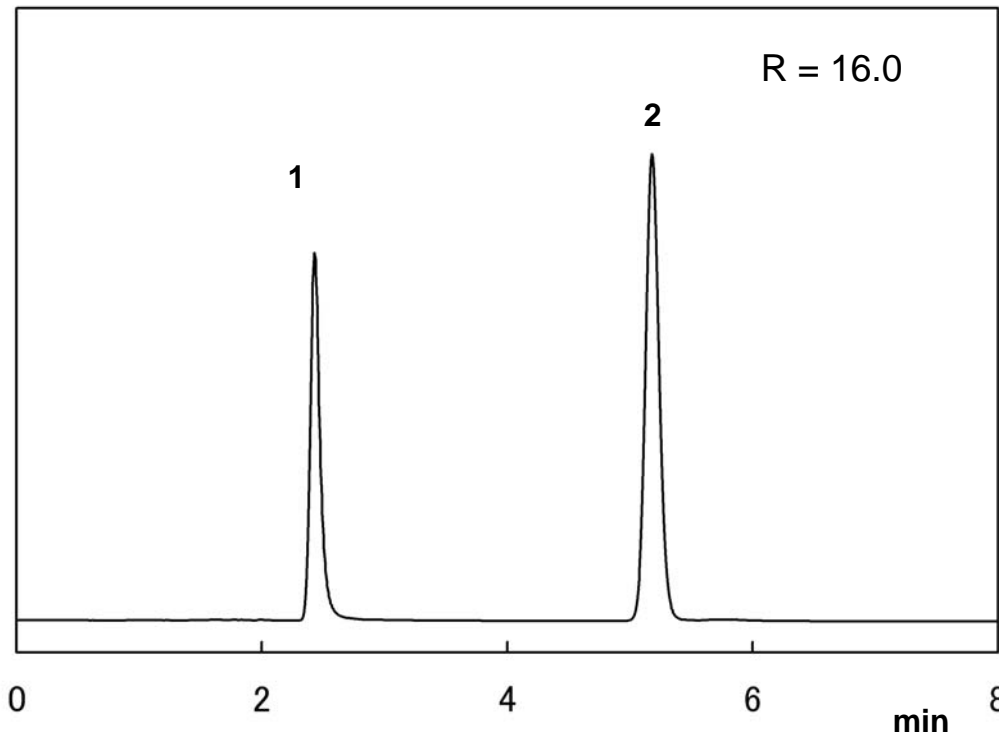
流量：アセトアミノフェンの保持時間が約5分になるように調整する。

カラムの選定：本品及び塩酸4-アミノフェノール0.01 gずつをメタノール1 mLに溶かし、移動相を加えて50 mLとする。この液1 mLをとり、移動相を加えて10 mLとする。この液10  $\mu$ Lにつき、上記の条件で操作するとき、4-アミノフェノール、アセトアミノフェンの順に溶出し、その分離度が7 以上のものを用いる。



# アセトアミノフェン：純度試験

—第十六改正 日本薬局方準拠—



Column : TSKgel ODS-100V 5  $\mu$ m  
(4.6 mm I.D. x 15 cm)  
Column temp. : 40  $^{\circ}$ C  
Eluent : 0.05 mol/L  $\text{KH}_2\text{PO}_4$ (pH 4.7)  
/  $\text{CH}_3\text{OH}$  = 4 / 1  
Flow rate : 1.1 mL/min  
Detector : UV (225 nm)  
Injection vol. : 10  $\mu$ L  
Concentration: 0.02 g/L  
(Acetaminophen)

Peaks:  
1: 4-Aminophenol  
2: Acetaminophen